

(別記第3号様式)

平成22年度歳入予算見積書(その3)

(単位:千円)

細目事業名		病院事業収益				※課長(内示 保留 内保) 部長(内示 保留 内保)	
前年度(既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額			
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳		
12,116,385		12,093,530		12,111,559			
<ul style="list-style-type: none"> ・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点 			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)		
《病院事業収入》							
1. 医業収益			[9,902,038] 10,094,493	9,887,797	9,887,797		
安芸病院			2,475,827	2,152,636	2,152,636		
芸陽病院			811,283	721,693	721,693		
幡多けんみん			6,807,383	7,013,468	7,013,468		
(1) 入院収益			[6,250,976] 6,547,093	6,186,188	6,186,188		
安芸病院			1,541,486	1,304,767	1,304,767		
患者数 48,571 → 41,442							
単 価 31,737 → 31,484							
芸陽病院			692,642	600,247	600,247		
患者数 48,379 → 42,040							
単 価 14,317 → 14,278							
幡多けんみん			4,312,965	4,281,174	4,281,174		
患者数 94,897 → 91,362							
単 価 45,449 → 46,859							
※特記事項							

平成 22 年度歳入予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(2) 外来収益	[3, 478, 205] 3, 376, 681	3, 503, 273	3, 503, 273
安芸病院 患者数 117, 774 → 106, 409 単 価 7, 671 → 7, 614	903, 462	810, 215	810, 215
芸陽病院 患者数 16, 917 → 16, 783 単 価 6, 829 → 7, 062	115, 526	118, 522	118, 522
幡多けんみん 患者数 158, 352 → 143, 469 単 価 14, 889 → 17, 945	2, 357, 693	2, 574, 536	2, 574, 536
(3) その他医業収益	[172, 857] 170, 719	198, 336	198, 336
安芸病院	30, 879	37, 654	37, 654
芸陽病院	3, 115	2, 924	2, 924
幡多けんみん病院	136, 725	157, 758	157, 758
(a) 室料差額収益	80, 462	74, 111	74, 111
(b) 公衆衛生活動収益	25, 698	38, 232	38, 232
(c) 医療相談収益	5, 941	4, 796	4, 796
(d) 受託検査施設利用収益	10, 429	8, 166	8, 166
(e) その他医業収益	48, 189	73, 031	73, 031
※特記事項			

平成 22 年度歳入予算見積書（その 3 - 2）

（単位：千円）

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止（休止）した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 （財源内訳）	見 積 額 （財源内訳）	※査 定 額 （財源内訳）
2. 医業外収益	[2, 072, 751] 2, 021, 889	2, 205, 730	2, 223, 759
(1) 他会計負担金	[1, 948, 549] 1, 948, 758	2, 126, 951	2, 151, 154
安芸病院	550, 029	521, 193	516, 093
芸陽病院	352, 667	466, 999	462, 448
幡多けんみん病院	1, 046, 062	1, 138, 759	1, 172, 613
(2) 他会計補助金 一般会計補助金 1, 517 健康づくり課補助金 2, 633 医療薬務課補助金 17, 067	[3, 759] 18, 392	24, 511	21, 217
安芸病院 （うち健康づくり課補助金 480） （うち医療薬務課補助金 8, 140）	7, 656	8, 487	8, 969
芸陽病院	1, 289	1, 168	1, 168
幡多けんみん病院 （うち健康づくり課補助金 2, 153） （うち医療薬務課補助金 8, 927）	9, 447	14, 856	11, 080
(3) 国庫補助金	[38, 861] 32, 664	32, 356	32, 356
(4) その他医業外収益	[81, 582] 22, 075	21, 912	19, 032
(a) 不用品売却収益			
(b) その他医業外収益	22, 075	21, 912	19, 032
※特記事項			

平成 2 2 年度歳入予算見積書 (その 3 - 2)

(単位: 千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
3. 特別利益 (1) 過年度損益修正益	[1,080] 3 3	3 3	3 3
※特記事項			

(別記第3号様式)

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

(単位: 千円)

細目事業名		病院事業費用		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)	
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
12,759,864		13,058,050		13,153,969	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止 (休止) した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
《病院事業費用》					
1. 医業費用			[11,880,419] 12,288,065	12,593,101	12,689,017
安芸病院			3,322,604	3,179,543	3,275,184
芸陽病院			1,050,203	1,102,470	1,077,584
幡多けんみん病院			7,915,258	8,311,088	8,336,249
(1) 給与費			[6,151,811] 6,016,117	6,009,472	6,126,030
安芸病院			1,868,625	1,761,341	1,857,964
芸陽病院			723,923	797,623	772,494
幡多けんみん			3,423,569	3,450,508	3,495,572
※特記事項					

平成 22 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(a) 給料	2,454,995	2,419,960	2,453,719
(b) 手当	2,126,725	2,073,817	2,110,043
(c) 賃金	300,524	275,919	275,919
(d) 報酬	12,320	11,020	11,020
(e) 法定福利費	880,192	871,756	918,329
(f) 退職給与金	241,361	357,000	357,000
(2) 材料費	[3,116,341] 3,074,915	3,242,690	3,259,495
安芸病院	553,778	481,008	499,315
芸陽病院	49,376	45,161	45,161
幡多けんみん病院	2,471,761	2,716,521	2,715,019
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(a)薬品費	2,163,560	2,376,192	2,388,326
安芸病院	355,496	317,592	329,726
芸陽病院	42,429	38,598	38,598
幡多けんみん	1,765,635	2,020,002	2,020,002
(b)診療材料費	903,929	854,271	860,444
安芸病院	197,062	161,546	167,719
芸陽病院	6,062	5,679	5,679
幡多けんみん病院	700,805	687,046	687,046
(c)給食材料費	3,131	3,838	3,838
安芸病院	650	1,303	1,303
芸陽病院	610	610	610
幡多けんみん病院	1,871	1,925	1,925
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位: 千円)

<ul style="list-style-type: none"> ・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点 	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(d) 医療消耗備品費	4, 295	8, 389	6, 887
安芸病院	570	567	567
芸陽病院	275	274	274
幡多けんみん病院	3, 450	7, 548	6, 046
(3) 経費	[1, 945, 769] 2, 189, 603	2, 302, 126	2, 269, 074
安芸病院	667, 266	698, 749	679, 460
芸陽病院	201, 681	193, 455	193, 698
幡多けんみん病院	1, 320, 656	1, 409, 922	1, 395, 916
(a) 厚生福利費	6, 207	7, 113	7, 113
(b) 報償費	84, 216	97, 719	97, 719
(c) 旅費交通費	12, 324	12, 708	12, 408
(d) 職員被服費	8, 602	8, 137	8, 137
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(e) 消耗品費	84,518	85,392	84,424
(f) 消耗備品費	5,036	4,088	4,088
(g) 光熱水費	174,216	174,042	174,042
(h) 燃料費	113,217	93,394	88,109
(i) 印刷製本費	16,594	10,687	10,687
(j) 修繕費	90,767	91,280	83,422
(k) 保険料	32,390	34,775	34,262
(l) 交際費	150	150	150
(m) 賃借料	62,908	64,564	64,564
(n) 通信運搬費	13,019	15,308	15,308
(o) 委託費	1,454,497	1,572,480	1,554,070
(p) 負担金諸会費	13,633	10,426	10,708
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(q) 雑費	17,309	19,863	19,863
(4) 減価償却費	[669,659] 954,002	968,405	968,405
(a) 建物減価償却費	457,898	457,903	457,903
(b) 構築物減価償却費	32,118	32,118	32,118
(c) 器械備品減価償却費	463,035	477,276	477,276
(d) 車両減価償却費	951	1,108	1,108
(5) 資産減耗費	[63,147] 9,642	19,709	19,709
(a) たな卸資産減耗費	736	709	709
(b) 固定資産除却費	8,906	19,000	19,000
(6) 研究研修費	[35,689] 43,786	50,699	46,304
安芸病院	13,692	13,081	13,081
芸陽病院	4,166	4,723	4,723
幡多けんみん病院	25,928	32,895	28,500
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
(a) 研究費	3,115	3,115	3,115
安芸病院	600	600	600
芸陽病院	240	240	240
幡多けんみん	2,275	2,275	2,275
(b) 研修費	30,020	36,973	32,578
安芸病院	10,489	9,916	9,916
芸陽病院	2,800	3,360	3,360
幡多けんみん病院	16,731	23,697	19,302
(c) 図書費	10,651	10,611	10,611
安芸病院	2,603	2,565	2,565
芸陽病院	1,126	1,123	1,123
幡多けんみん	6,922	6,923	6,923
※特記事項			

平成 22 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
2. 医業外費用	[457, 757] 425, 378	408, 633	408, 636
安芸病院	77, 071	71, 850	71, 850
芸陽病院	20, 830	18, 421	18, 424
幡多けんみん病院	327, 477	318, 362	318, 362
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	[350, 950] 362, 620	347, 138	347, 138
(a) 企業債利息	356, 083	337, 188	337, 188
(b) 長期借入金利息	5, 635	7, 176	7, 176
(c) 一時借入金利息	34	34	34
(d) 企業債引受手数料	868	2, 740	2, 740
(2) 控除対象外消費税消却	[52, 775] 57, 009	56, 039	56, 039
(3) 消費税及び地方消費税	[0] 4, 842	4, 663	4, 666
(4) 雑損失	[54, 032] 907	793	793
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
3. 特別損失	[86,082] 46,421	56,316	56,316
(1) 過年度損益修正損	46,418	56,313	56,313
(a) 保険査定減	36,173	42,883	42,883
(b) その他過年度損益修正損	10,245	13,430	13,430
(3) その他特別損失	3	3	3
《収支差》	△643,479	△964,520	△1,042,410
安芸病院	△365,482	△570,080	△670,339
芸陽病院	93,325	67,390	87,722
幡多けんみん病院	△371,322	△461,830	△459,793
※特記事項			

(別記第3号様式)

平成22年度歳入予算見積書 (その3)

(単位: 千円)

事業名		本庁事業収益		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)	
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
126,568		141,112		140,884	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止 (休止) した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
1	医業外収益	[114,742] 126,567		141,112	140,883
	(1) 受取利息配当金	1,054		500	500
	定期預金等の利子収入 (416,185,002円×0.12%)	1,054		500	500
	(2) 一般会計負担金	11,269		13,178	14,061
	研究研修費	2,973		4,666	4,277
	地共済追加費用	5,828		4,985	4,985
	基礎年金拠出金	1,939		2,977	2,977
	児童手当	529		550	550
	こども手当			1,272	1,272
	(3) 一般会計補助金	114,234		123,822	122,711
	病院管理経費	114,234		123,822	122,711
	(4) その他医業外収益	10		3,611	3,611
	総合診療医養成研修関連 ※地域医療再生機構より	3,601			
2	特別利益	[0] 1		1	1
	(1) 過年度損益修正益	1		1	1
※特記事項					

(別記第3号様式)

平成22年度歳入予算見積書 (その3)

(単位: 千円)

事業名		本庁事業収益 (中央病院関連)		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)	
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止 (休止) した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
1 医業外収益 (1) その他医業外収益 目的外使用料 (四国電力等)			[53, 325]		
2 特別利益 (1) 過年度損益修正益 返却分再請求			[53, 325]		
※特記事項					

(別記第3号様式)

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

(単位:千円)

事業名		本庁事業費用		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)	
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
126,568		141,112		140,884	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止 (休止) した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
病院管理事業 ・目的 病院事業全体の管理、指導、調整 ・内容 本庁の職員給与、本庁の事務費 各病院指導・調整、自主企画研修等			[114,742] 126,568	141,112	140,884
1 医業費用			[113,862] 126,552	141,108	139,880
(1) 給与費 (12人→13人)			103,873	111,229	112,488
①給料			50,845	56,325	56,408
②手当			33,336	33,893	35,038
③賃金 臨時 12月			1,828	1,828	1,828
④法定福利費			17,776	19,095	19,126
⑤退職給与金			88	88	88
(2) 経費			16,733	20,547	18,838
①負担金			6,125	7,094	7,094
都道府県立病院事業管理者等連絡会等			24	24	24
情報企画負担金			5,952	6,895	6,895
旅費システム負担金			98	124	124
その他			51	51	51
※特記事項					

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
②報償費	2,065	2,217	2,217
退職記念品料 @5,000×20人×1.05	105	105	105
顧問弁護士報償	600	600	600
プロポーザル審査会関連 委員謝金 @60,000×3人×2回	360	(終了)	
提案者報償費 @200,000×5社	1,000	(終了)	
総合医養成プログラム関連 検討会委員謝金 @30,000×6人×4回 分科会委員謝金 @30,000×6人×4回		1,440	1,440
経営健全化推進委員会関連 推進委員謝金 @9,000円×4人×2回		72	72
③委託費	185	707	707
給与計算委託等	185	707	707
④交際費	80	150	150
⑤厚生福利費	210	304	304
人間ドック・定期健康診断	114	207	207
互助会負担金	96	97	97
⑥その他事務費	8,068	10,075	8,366
(3) 減価償却費			
(4) 資産減耗費			
(5) 研究研修費	5,946	9,332	8,554
①研修費	5,896	9,232	8,504
②図書費	50	100	50
※特記事項			

平成 2 2 年度歳出予算見積書 (その 3 - 2)

(単位: 千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
2 医業外費用	[880] 15	3	3
(1) 繰延勘定償却	15	3	3
3 特別損失	[0] 1	1	1
(1) 過年度損益修正損	1	1	1
4 予備費			1,000
※特記事項			

(別記第3号様式)

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

(単位:千円)

事業名		本庁事業費用 (中央病院関連)		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)	
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
1,264		500		500	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止 (休止) した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
中央病院関連			[991]		
・目的 維持管理等 ・内容 維持管理経費 (宿舍修繕等) 不能欠損等			1,264	500	500
1	医業費用	[991]			
	(1) 経費	1,264		500	500
	①光熱水費	6			
	②委託費	1,000		500	500
	不動産鑑定料 宿舍修繕等	1,000		500	500
	③雑費	258			
	競売広告費用				
		[0]			
2	特別損失				
	(1) 過年度損益修正損				
	①保険査定減				
	②その他過年度損益修正損 (不能欠損等)				
	不能欠損等 国庫補助返還金 (中央病院財産処分)				
※特記事項					

(別記第3号様式)

平成22年度歳入予算見積書(その3)

(単位:千円)

細目事業名		一般会計繰入金		※課長(内示 保留 内保) 部長(内示 保留 内保)	
前年度(既計上) 予算額		見 積 額		※ 査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
2,721,631		3,094,469		3,123,484	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
《一般会計負担金》			[2,443,290]		
			2,583,350	2,950,623	2,976,916
			[705,664]		
1. 建設改良に要する経費			818,718	975,115	974,477
1) 趣旨					
病院の建設改良費について一般会計が負担するための経費					
2) 内容					
特定財源を除く病院の建設改良費の2分の1及び企業債元利償還金の3分の2					
・建設改良費			41,659	10,181	9,543
・企業債元金			545,216	745,103	745,103
・企業債利息			231,843	219,831	219,831
			[2,739]		
2. へき地医療の確保に要する経費			2,485	2,298	2,298
1) 趣旨					
へき地における医療の確保を図るために必要な経費について、一般会計が負担するための経費					
2) 内容					
地域において中核的役割を果たしている病院が、巡回診療等を行うために必要な経費のうち、その収入をもって充てることができない額					
・無医地区巡回診療(安芸)			1,417	1,513	1,513
・地域医療室(幡多)			1,068	785	785
※特記事項					

平成 22 年度歳入予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
3. 結核病院の運営に要する経費 1) 趣旨 結核病院の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 結核病院の運営に要する経費のうち、その経営の収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額 ・結核病床減収補てん	[74, 488] 75, 764	63, 988	63, 988
4. 精神病院の運営に要する経費 1) 趣旨 精神病院の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 精神病院の運営に要する経費のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額 ・精神病院減収補てん	[264, 509] 283, 396	386, 953	388, 018
5. リハビリ医療 1) 趣旨 リハビリテーション医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 リハビリテーション医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額	[59, 797] 51, 621	40, 369	41, 868
6. 院内保育所の運営 1) 趣旨 病院内保育所の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 病院内保育所の運営に要する経費のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額	[10, 174] 11, 311	13, 093	13, 093
7. 小児・周産期医療 1) 趣旨 小児・周産期医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 小児・周産期医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額	[544, 413] 478, 459	425, 700	506, 201
※特記事項			

平成 22 年度歳入予算見積書 (その 3 - 2)

(単位：千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
8. 救急医療の確保に要する経費	[222, 981] 248, 298	207, 074	214, 939
1) 趣旨 救急医療の確保に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 救急病院における医師等の待機及び空床の確保等救急医療の確保に必要な経費に相当する額 ・待機経費 ・空床補償 ・救急手当	139, 505 103, 922 4, 871	101, 636 98, 135 7, 303	108, 271 98, 135 8, 533
9. 高度医療に要する経費	[138, 446] 168, 142	179, 609	184, 435
1) 趣旨 高度な医療で採算をとることが困難であっても、公立病院として行わざるをえないものの実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 高度特殊な医療の実施に要する経費のうちこれに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額 3) 見積概要 ・高度医療機器 (元利償還の1/2) ・集中治療室 (I C U) ・感染症空床補償 ・病理解剖経費	39, 094 102, 495 24, 949 1, 604	59, 691 94, 772 24, 474 672	59, 691 99, 596 24, 474 674
10. 保健衛生行政事務に要する経費	[22, 955] 23, 319	77, 634	71, 543
1) 趣旨 集団検診、医療相談等保健衛生に関する行政として行われる事務に要する経費について、一般会計が負担するための経費 2) 内容 集団検診、医療相談等に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額			
看護師養成 ・講義時間に対する給与費補填 ・兼務職員の給与 ・総合看護専門学校実習棟経費	16, 856	62, 477	65, 087
医療相談等経費 ・相談員給与 ・検診等 ・講師及び健康相談等 ・各種審議会等	6, 463	6, 362	6, 456
※特記事項			

平成22年度歳入予算見積書（その3-2）

（単位：千円）

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
地域医療連携ネットワーク維持経費 ・幡多医療圏の連携体制の動きを推進するため、 地域の中核的な役割を担う幡多けんみん病院 が、電子カルテ等の情報を共有するために導 入した地域医療連携ネットワークシステムの 維持管理経費		8,795	0
1 1. 経営基盤強化対策	[296,872]		
①医師・看護師等の研究研修	314,274	247,426	249,200
1) 趣旨	23,510	28,570	27,430
医師及び看護師等の研究研修に要する経費の 一部について繰出すための経費			
2) 内容			
医師及び看護師等の研究研修に要する経費の 1 / 2			
②共済追加費用の負担に要する経費	290,764	218,856	221,770
1) 趣旨			
病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要 する経費の一部について繰り出すための経費			
2) 内容			
共済追加費用の負担額の一部			
1 2. その他	[100,253]		
①基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	107,563	145,677	170,693
1) 趣旨	94,328	129,159	130,978
病院事業会計に係る基礎年金拠出金に係る公 的負担に要する経費の全部又は一部について繰 り出すための経費			
2) 内容			
病院事業職員に係る基礎年金拠出金に係る公 的負担額			
②児童手当に要する経費	11,595	14,878	13,639
1) 趣旨			
病院事業職員に係る児童手当に要する経費の うち、3歳から小学校就学前の児童に係るもの に要する経費について一般会計が負担するた めの経費			
2) 内容			
病院事業職員に係る児童手当のうち、3歳か ら小学校就学前の児童を対象とする特例給付に 要する額			
※特記事項			

平成 2 2 年度歳入予算見積書 (その 3 - 2)

(単位: 千円)

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
③公的病院等特殊診療部門運営費補助金の一般財源化	1,640	1,640	1,032
1) 趣旨			
公的病院等特殊診療部門運営費補助金が平成5年度より一般財源化されたことに伴う措置			
2) 内容			
国庫補助金一般財源化による影響額			
④子ども手当		25,044	25,044
1 3. 医師確保対策に要する経費		185,687	96,163
1) 趣旨			
公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費の一部について繰り出すための経費			
2) 内容			
国家公務員である病院等勤務医師について講じられる措置を踏まえて行う公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費のうち、経営に伴う収入を持って充てることが客観的に困難であると認められるものに相当する額とする。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域手当上乗せ (14%→15%へ) 		30,693	4,302
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師公舎借上料 		9,986	9,866
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務補助作業補助 		28,504	13,556
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテ維持管理経費 		116,504	0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任給調整手当 		68,439	68,439
※特記事項			

平成 22 年度歳入予算見積書（その 3 - 2）

（単位：千円）

・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
《一般会計補助金》（法第 17 条の 3）	[130, 633]		
	138, 281	143, 846	146, 568
	[25, 250]		
1. 建設改良費	24, 047	23, 857	23, 857
1) 趣旨			
病院の建設改良費について一般会計から補助を受ける額			
2) 内容			
平成元年度までの元利償還金の 3 分の 1 の額			
3) 見積概要			
・企業債元金	22, 207	22, 340	22, 340
・企業債利子	1, 840	1, 517	1, 517
	[105, 383]		
2. 病院管理経費	114, 234	119, 989	122, 711
1) 趣旨			
各病院の独立採算性を徹底するため公営企業局本庁の収支差について補助を受けるもの			
2) 内容			
本庁の医療外収益等の収入から給与費、経費等の費用を差し引いた額			
3) 見積概要			
収益	12, 334	15, 445	18, 173
・ 医療外収益等	1, 065	4, 112	4, 112
・ 一般会計繰入金	11, 269	11, 333	14, 061
費用	126, 568	135, 434	140, 884
差引	114, 234	119, 989	122, 711
※特記事項			

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款：資本的収入		項：借入金		目	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
299,800		442,517		441,895	
<ul style="list-style-type: none"> ・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点 		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)	
<他会計借入金> <ul style="list-style-type: none"> ・収支不足額に対する一般会計からの借入金 		[206,451] 299,800	442,517	441,895	
積算内訳					
款・項・目	前年度予算額	見 積 額	※決 定 額	備 考	
資本的収入 A	1,149,159	1,733,199	1,711,404		
企業債	479,400	897,800	870,400		
負担金	623,323	812,322	811,701		
補助金	24,767	23,076	29,303		
委託金					
雑収入	1	1	1		
その他資本的収入	21,668				
内部留保資金 B					
資本的支出 C	1,448,959	2,175,716	2,153,300		
建設改良費	586,948	918,866	896,450		
建設費	72,846	361,540	360,267		
改良費	514,102	557,326	536,183		
企業債等償還金	862,011	1,256,850	1,256,850		
企業債償還金	862,011	1,256,850	1,256,850		
他会計償還金					
資本外支出 D					
収支不足額 A+B-C-D	299,800	442,517	441,895		
*特記事項					

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款：資本的収入		項：負担金		目	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
623, 323		812, 322		811, 701	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
<他会計負担金> 地方公営企業法第17条の2、施行令付則14に 基づく一般会計負担金			[486, 584] 623, 323	812, 322	811, 701
1	建設改良費（建設費） 安芸地域県立病院整備事業	36, 423		5, 120	4, 483
2	建設改良費（改良費）	5, 236		5, 044	5, 060
	・幡多けんみん病院改良事業	7			
	・県立病院改良事業	2, 500		2, 500	2, 500
	・県立病院器械整備事業				
	・県立病院器械備品等整備事業	2, 729		2, 544	2, 560
2	企業債等償還金	581, 664		802, 158	802, 158
	・企業債償還元金（定期償還分） 企業債償還元金の2/3(～H14) 企業債償還元金の1/2(H15～) 高度医療機器にかかる 企業債償還元金の1/2	581, 664		802, 158	802, 158
*特記事項					

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款：資本的収入		項：補助金		目	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
24,767		23,076		29,303	
<ul style="list-style-type: none"> ・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点 		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)	
<補助金>					
他会計補助金（地方公営企業法第17条の3）		[33,404] 24,767	23,076	29,303	
企業債償還元金 補助基準：元年度までの企業債元金償還金の1/3（定期償還分） 2年度以降は対象外		22,207	22,340	22,340	
健康づくり課補助金		2,160	736	736	
人工呼吸器購入		2,160			
HEPAフィルター付パーティション			736	736	
医療薬務課補助金					
地域医療体制整備事業費		400			
*特記事項					

(別記第3号様式)
さい。

※の部分は記載しないでくだ

平成22年度歳入予算見積書 (その3-2)

(単位：千円)

課名：

※区分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 (簡潔に記述してください。)	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見積額 (財源内訳)	※決定額 (財源内訳)
	高知DMAT設備整備事業費補助金 (医療薬務課補助金) 補助率 2/2	[0] 0	6,227	6,227
※特記事項				

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款：資本的収入		項：雑収入		目	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
1		1		1	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
<雑収入>					
固定資産売却代金			[6,883] 1	1	1
*特記事項					

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款：資本的収入		項：企業債		目	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
479,400		897,800		870,400	
・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点			[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)
<企業債>			[1,520,100]		
			479,400	897,800	870,400
1. 建設改良費（改良費）			479,400		
・安芸地域県立病院整備事業				351,300	351,300
・幡多けんみん病院改良事業			4,300		
・県立病院器械整備事業			389,500	446,282	446,282
・県立病院器械備品等整備事業			85,600	100,218	72,818
*特記事項					

平成 2 2 度 歳 入 予 算 見 積 書

病院事業会計
(単位：千円)

款： 資本的収入		項： その他資本的収入		目：	
細目事業見積額		※課長（内示 保留 内保） 部長（内示 保留 内保）			
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※査 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
21,668					
<ul style="list-style-type: none"> ・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・事業を廃止(休止)した場合に想定される問題点 		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※査 定 額 (財源内訳)	
医療薬務課委託料 広域医療搬送拠点用資機材等整備委託料 (SCU)		[0] 21,668			
*特記事項					

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

(単位：千円)

課室名：公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	改良費
細目事業名	県立病院改良事業		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）		
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
5,000	(借) 2,500 (負) 2,500	5,000	(借) 2,500 (負) 2,500	5,000	(借) 2,500 (負) 2,500
※区分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDCAサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください)		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	1. 事業目的及び事業内容 公的医療機関として必要な施設の整備と維持を図るため、各県立病院において、年度途中で発生する緊急度の高い改良工事に対応する。				
	2. 事業費		[0] 5,000	5,000 (借) 2,500 (負) 2,500	5,000 (借) 2,500 (負) 2,500
※特記事項					

平成22年度歳出予算見積書(その3)

(単位:千円)

課室名:公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	改良費
細目事業名	県立病院器械整備事業		※課長(内示 保留 内保)部長(内示 保留 内保)		
前年度(既計上)予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
389,500	(債)389,500	446,282	(債)446,282	446,282	(債)446,282
※区分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDCAサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください)		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	1. 事業目的及び事業内容 高度医療器械等(購入予定価格が5,000千円以上)の更新及び新規(増設)導入を実施することにより、各県立病院の医療機能の維持、高度特殊医療等の機能の充実、業務の効率向上を図る。		[1,392,850]		
	2. 高額医療器械		389,500 (債)389,500	446,282 (債)446,282	446,282 (債)446,282
	(1) 安芸病院		84,965	42,420	42,420
	・生化学自動分析装置			25,725	25,725
	・泌尿器科外来ビデオシステム			9,345	9,345
	・外科用超音波診断装置			7,350	7,350
	(2) 芸陽病院		4,000	0	0
※特記事項					

平成22年度歳出予算見積書 (その3-2)

(単位：千円)

課室名：公営企業局県立病院課

※ 区 分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDCAサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください。)	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	(3) 幡多けんみん病院	300,535	403,862	403,862
	・電子カルテシステム (先進機能追加)		7,342	7,342
	・生理検査情報システム		126,000	126,000
	・CRシステム		136,500	136,500
	・体外衝撃波結石破碎装置		73,500	73,500
	・超音波診断装置 (産婦人科)		10,452	10,452
	・超音波診断装置 (耳鼻咽喉科)		9,555	9,555
	・血液浄化装置		11,025	11,025
	・人工呼吸器		18,484	18,484
	・外科用X線テレビ装置		5,775	5,775
	・外科用パルスレーザー手術装置		5,229	5,229
※特記事項				

平成22年度歳出予算見積書(その3)

(単位:千円)

課室名: 公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	改良費
細目事業名	県立病院器械備品等整備事業		※課長(内示 保留 内保) 部長(内示 保留 内保)		
前年度(既計上) 予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
115,288	(債) 85,600 (借) 2,731 (負) 2,729 (補) 2,560 (他) 21,668	106,044	(債) 100,218 (借) 2,546 (負) 2,544 (補) 736	84,901	(債) 72,818 (借) 2,560 (負) 2,560 (補) 6,963
※ 区 分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDCAサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください)		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	1. 事業目的及び事業内容 老朽等により修理不能である器械備品等の更新及び医学の進歩に対応できる機器の整備を図り、県民に対するサービスの維持向上に努める。		[140,246] 115,288	106,044	84,901
	2. 器械備品 合計 66件		(債) 85,600 (借) 2,731 (負) 2,729 (補) 2,560 (他) 21,668	(債) 100,218 (借) 2,546 (負) 2,544 (補) 736	(債) 72,818 (借) 2,560 (負) 2,560 (補) 6,963
	3. 起債対象		85,679	100,218	72,818
	4. その他		26,609	5,826	12,083
	(1) 安芸病院		3,089	1,293	7,520
	(2) 芸陽病院		828	271	271
	(3) 幡多けんみん病院		25,692	4,262	4,292
※特記事項					

平成22年度歳出予算見積書 (その3-2)

(単位：千円)

課名：県立病院課

※ 区 分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 (簡潔に記述してください。)	[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	DMA T設備整備事業費 1 DMA Tユニフォーム 2 個人防護具 3 医療資機材用搬入用バッグ 4 トランシーバー 5 簡易心電図モニター 6 ポータブル人工呼吸器 7 輸液ポンプ 8 携帯型超音波診断装置	[0] 0	6,227	6,227
※特記事項				

平成22年度歳出予算見積書(その3)

(単位:千円)

課室名:公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	企業債等償還金	目	企業債償還金
細目事業名	企業債償還金		※課長(内示 保留 内保)部長(内示 保留 内保)		
前年度(既計上)予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
862,011	(借) 258,139 (負) 581,664 (補) 22,207 (雑) 1	1,256,850	(借) 432,351 (負) 802,158 (補) 22,340 (雑) 1	1,256,850	(借) 432,351 (負) 802,158 (補) 22,340 (雑) 1
※区分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDC Aサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください)		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	1. 企業債償還元金 1,256,853千円		[719,402] 862,011	1,256,850	1,256,850
			(借) 258,139	(借) 432,351	(借) 432,351
			(負) 581,664	(負) 802,158	(負) 802,158
			(補) 22,207	(補) 22,340	(補) 22,340
			(雑) 1	(雑) 1	(雑) 1
	(1) 元年度までの借入企業債償還元金 67,019千円		66,623	67,019	67,019
	(負)67,019千円×2/3=44,679千円		(負) 44,416	(負) 44,679	(負) 44,679
	(補)67,019千円×1/3=22,340千円		(補) 22,207	(補) 22,340	(補) 22,340
	(2) 2~14年度までの借入企業債償還元金 633,056千円		618,638	633,056	633,056
	(借・雑)633,056千円×1/3=211,019円		(借) 206,212	(借) 211,018	(借) 211,018
	(負)633,056千円×2/3=422,037円		(負) 412,425	(負) 422,037	(負) 422,037
	(雑) 1		(雑) 1	(雑) 1	(雑) 1
	(3) 15年度以降の借入企業債償還元金 556,775千円		140,302	556,775	556,775
	(借)556,775千円×1/2=278,388千円		(借) 51,927	(借) 221,333	(借) 221,333
	278,388千円-57,055千円(高度医療) =221,333千円				
	(負)556,775千円×1/2=278,387千円		(負) 88,375	(負) 335,442	(負) 335,442
	278,387千円+57,055千円(高度医療) =335,442千円				
	※(3) 15年度以降の借入企業債償還金のうち、 高度医療機器の整備に係る借入企業債償還元 金(1/2) 114,109千円		36,448 (負) 36,448	57,055 (負) 57,055	57,055 (負) 57,055
	(負)114,109千円×1/2=57,055円				
※特記事項					

平成22年度歳出予算見積書(その3)

(単位:千円)

課室名: 公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	建設費
細目事業名	安芸地域県立病院整備事業		※課長(内示 保留 内保) 部長(内示 保留 内保)		
前年度(既計上) 予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
72,846	(借)36,423 (負)36,423	361,540	(借) 5,120 (負) 5,120 (債)351,300	360,267	(借) 4,484 (負) 4,483 (債)351,300
※区分	・細々目事業の目的、内容、根拠法令、見積概要 ・PDCAサイクルに基づく見直し内容、改善点等 (簡潔に記述してください)		[前々年度決算額] 前年度予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
	1. 事業目的 安芸保健医療圏の中核病院として他の医療機関と連携を取りながら、医療圏全体で2次医療をほぼ完結できる医療体制を構築することを目指して、新しい安芸地域県立病院を整備する。		[0] 72,846 (借)36,423 (負)36,423	361,540 (借) 5,120 (負) 5,120 (債)351,300	360,267 (借) 4,484 (負) 4,483 (債)351,300
	2. 事業費及び事業内容				
	【建物】				
	・看護宿舎建築工事			143,329	143,329
	・寄宿舍解体工事			15,366	15,366
	【建設事務費】				
	・実施設計委託料(外部設計委託料)			176,563	176,563
	・地質調査委託料			6,300	6,300
	・事前調査委託料			9,471	9,471
	・境界確定・登記業務委託料			630	630
	・開発申請業務委託料			3,402	3,402
	・設計監理委託料(建築課監理委託料)		298	1,000	1,000
	・基本設計委託料		71,798		
	・その他建設事務費		750	5,479	4,206
※特記事項					

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：公営企業局県立病院課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	建設費
細目事業名	安芸地域県立病院整備事業		※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)		
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		151,677	(債) 151,677	151,677	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》					
1 安芸地域県立病院整備事業費 (看護宿舎)				44,029	44,029
2 安芸地域県立病院整備事業費 (医師公舎)				107,648	107,648
3 債務負担行為内容 別紙のとおり					

債務負担行為見積書

課室名：公営企業局県立病院課

事項	目的又は理由	期間	限度額	内容説明
安芸地域県立病院整備事業費（看護宿舍）	安芸保健医療圏の中核病院として他の医療機関と連携を取りながら、医療圏全体で2次医療をほぼ完結できる医療体制を構築することを目指して、新しい安芸地域県立病院を整備する。 この整備の一環として、看護宿舍の建築等の工事を行う。	平成22年4月1日から 平成24年3月31日まで	千円 44,029	看護宿舍の建築・機械・電気の工事を実施する。 (1) 契約方法：一般競争入札 (2) 契約期間：H22.11～H23.5 (3) 限度額：平成23年度 44,029千円 参考) 平成22年度 143,329千円 (出来高の85%×9/10以内)
安芸地域県立病院整備事業費（医師公舎）	安芸保健医療圏の中核病院として他の医療機関と連携を取りながら、医療圏全体で2次医療をほぼ完結できる医療体制を構築することを目指して、新しい安芸地域県立病院を整備する。 この整備の一環として、医師公舎の建築等の工事を行う。	平成22年4月1日から 平成24年3月31日まで	107,648	医師公舎の建築・機械・電気の工事を実施する。 (1) 契約方法：一般競争入札 (2) 契約期間：H23.3～H23.10 (3) 限度額：107,648千円

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：県立病院課

款	安芸病院事業費用	項	医業費用	目	
細目事業名	安芸病院事業費用		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）		
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		413,046	(医業収益) 413,046	413,046	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》					
1 安芸病院病院事務業務委託				200,014	200,04
2 安芸病院検体検査業務委託料				213,032	213,032
2 債務負担行為内容 別紙のとおり					

平成22年度歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：県立病院課

款	芸陽病院事業費用	項	医業費用	目	
細目事業名	芸陽病院事業費用		※課長(内示 保留 内保) 部長(内示 保留 内保)		
前年度(既計上) 予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		14,088	(医業収益) 14,088	14,088	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》					
1 芸陽病院病院事務業務委託				4,146	4,146
2 芸陽病院検体検査業務委託料				9,942	9,942
3 債務負担行為内容 別紙のとおり					

債務負担行為見積書

課室名：県立病院課

事 項	目 的 又 は 理 由	期 間	限 度 額	内 容 説 明
安芸病院 病院事務業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	千円 200,014	2年契約 ※2年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は100,007千円を想定
芸陽病院 病院事務業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	4,146	2年契約 ※2年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は2,073千円を想定
安芸病院 検体検査業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や機器の調達、社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	213,032	2年契約 ※2年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は106,516千円を想定

債務負担行為見積書

課室名：県立病院課

事 項	目 的 又 は 理 由	期 間	限 度 額	内 容 説 明
芸陽病院 検体検査業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や機器の調達、社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	9,942	2年契約 ※2年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は4,971千円を想定
幡多けんみん病院 給食業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成26年3月31日まで	335,766	3年契約 ※3年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は111,922千円を想定
幡多けんみん病院 医事業務委託料	委託業務の専門性が高く、業者入替となった場合、有資格者の雇用や社内研修、業務引き継ぎ等に準備期間が必要である。また、良質で安定的なサービスの提供とコストの削減等が図られるため、複数年度契約とする。	平成22年4月1日から 平成27年3月31日まで	880,020	4年契約 ※4年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は220,005千円を想定

(別記第3号様式)

平成22年度歳入歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：県立病院課

款	安芸病院事業費用	項	医業費用	目	
細目事業名	安芸病院事業費用	※課長 (内示 保留 内保) 部長 (内示 保留 内保)			
前年度 (既計上) 予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		1,497	(医業収益) 1,497	1,497	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》					
1 安芸病院未収金回収等業務委託				1,497	1,497
2 債務負担行為内容 別紙のとおり					

平成22年度歳入歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：県立病院課

款	芸陽病院事業費用	項	医業費用	目	
細目事業名	芸陽病院事業費用		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）		
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		345	(医業収益) 345	345	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》					
1 芸陽病院未収金回収等業務委託				345	345
2 債務負担行為内容 別紙のとおり					

平成22年度歳入歳出予算見積書 (その3)

《債務負担行為》

(単位：千円)

課室名：県立病院課

款	幡多けんみん病院 事業費用	項	医業費用	目	
細目事業名	幡多けんみん病院事業費用		※課長（内示 保留 内保）部長（内示 保留 内保）		
前年度（既計上）予算額		見 積 額		※決 定 額	
金 額	財源内訳	金 額	財源内訳	金 額	財源内訳
		4,770	(医業収益) 4,770	4,770	
細々目事業の目的、内容、見積概要 事業を実施するにあたっての課題			既計上予算額 (財源内訳)	見 積 額 (財源内訳)	※決 定 額 (財源内訳)
《債務負担行為》 1 幡多けんみん病院未収金回収等業務委託料 2 債務負担行為内容 別紙のとおり				4,770	4,770
<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-left: auto;"></div>					

債務負担行為見積書

課室名：県立病院課

事 項	目 的 又 は 理 由	期 間	限 度 額	内 容 説 明
安芸病院 未収金回収等業務委託料	滞納者への請求等を反復継続して行わせることにより債権を回収することを目的とした業務であり、相当期間、継続的に業務を請け負わせる必要があるため、複数年契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	千円 1,497	3年契約 ※3年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は499千円を想定
芸陽病院 未収金回収等業務委託料	滞納者への請求等を反復継続して行わせることにより債権を回収することを目的とした業務であり、相当期間、継続的に業務を請け負わせる必要があるため、複数年契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	345	3年契約 ※3年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は115千円を想定
幡多けんみん病院 未収金回収等業務委託料	滞納者への請求等を反復継続して行わせることにより債権を回収することを目的とした業務であり、相当期間、継続的に業務を請け負わせる必要があるため、複数年契約とする。	平成22年4月1日から 平成25年3月31日まで	4,770	3年契約 ※3年間の限度額を設定 単年度あたりの限度額は1,590千円を想定